

# ■ 2009年度 入試問題分析シート ■

京都大学

前期日程

科目	英語
----	----

総括

試験時間	総人・医(医) 140分(リスニングを含む), 他 120分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	総人(文)・教育・経済(論文・理系)・医(人間健康)・薬・工(情報Bを除く)・農 200点, 総人(理)・文・法・経済(一般)・理 150点, 医(医) 300点, 工(情報B) 100点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

大問3問構成は例年通り。  
分量面では、素材文・下線部の分量ともに激減。素材文全体で420語程度、下線部で220語弱の大幅減となった。英作文の課題文の分量は微減にとどまった。  
英文和訳の第1問は「ころころ (mind) とは何か」をテーマとした抽象度の高い英文で、一部に内容把握が難しいところがあった。第2問は「形態と機能の融合例」としての紙クリップや爪楊枝について述べた文で、具体的なイメージを思い描いたうえで適切な訳語を考えさせる京大らしい出題となった。  
文構造面では、京大英語の特徴である「息の長い」文、同格関係を含む文が予想通り出題されていた。  
和文英訳では、相変わらず、こなれた和文からの出題となっている。表現の字面(じづら)にとらわれず、その奥に隠れている意味内容をしっかりつかんで、わかりやすく表現する実力を問うている点では、本年度も京大らしい出題だったと言える。  
リスニング問題はバランスのとれた問題だった。

〈合格への学習対策〉

基本的な語彙力と構文把握力を身につけておくことは大前提。英文解釈では、息の長い複雑な構造の文を読み取る力、個々の部分を文脈の中において解釈する力、および、読み取った内容を自然な日本語で表す力を鍛えていこう。英作文では、字面の安易な一対一で済ませるのではなく、和文の全体をしっかりと読み、その内容をわかりやすく噛み砕いて、自分が確実に使いこなせる語彙で表現する訓練を積み重ねよう。リスニング対策としては、英文を読む練習を下敷きとしながら、音に慣れる練習、まとまった情報をキャッチする実践的練習を繰り返してほしい。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	分野・テーマ(表題)	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
I	記述	英文和訳「心とは何か」	<p>(1) ...has followed their own particular narrative の訳出に当たっては、前文の...has lived out their particular life story を参考にできたかどうか。As ..., so ~の相関構文、in turn、act as ...、whatever 節などでは確実に得点したい。frame of reference はよく使われる表現だが、訳語の知識があったかどうか。</p> <p>(2) after all は前文に対して理由を付け足す用法。as 以下が not entirely correct という事への理由説明になっていることを把握するには、前後の意味内容をよく考える必要がある。Not only that, but...の相関構文の訳出もポイント。with a little less control or with greater hesitancy は修飾関係をよく考えて訳す必要がある。</p> <p>(3) 対比の接続詞 while、with ...の並列、perceive O as C など、基本事項では失点できない。mental は mind の形容詞形であること、physical の対比語であることを踏まえて訳出できたかどうか。</p>	標準

## ■ 2009年度 入試問題分析シート ■

Ⅱ		英文和訳「形態と機能の融合例」	<p>(1) paper clip「紙クリップ」のイメージが思い描ければ、loop-within-a-loopの訳もできただろう。構文面では (be) admired ... for ~「~のことで賞賛される」、語彙面では graceful がポイント。</p> <p>(2) まず、My vote for ... goes to one ... という文構造をつかむのが先決。one は object を受ける不定代名詞。from which it gets の訳には一工夫いる。</p> <p>(3) based on ... という分詞構文では確実に得点したい。groove、stalk の意味は前後関係からある程度、類推が可能。marks は grooves の言い換えであることが見抜けたかどうか。the repeated and prolonged use of ... の名詞構文は「文」の形に戻してわかりやすく訳したい。</p>	標準
Ⅲ	記述	和文英訳「ユーモアのセンス」 和文英訳「我が家の古いピアノ」	<p>(1) 「低俗な奴と顰蹙を買う」「人間関係における一種の潤滑油」「…ことは、最高の褒め言葉」などに工夫が必要。</p> <p>(2) 「懐かしい思い出がたくさん詰まっている」「再生させる」などがポイント。</p>	標準
Ⅳ	記述・選択式	セクション1「石炭発電の復活をめぐる環境論議」	ほぼ昨年並み。	標準
	記述式	セクション2「遺伝子治療の進捗状況」	ほぼ昨年並み	標準

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。